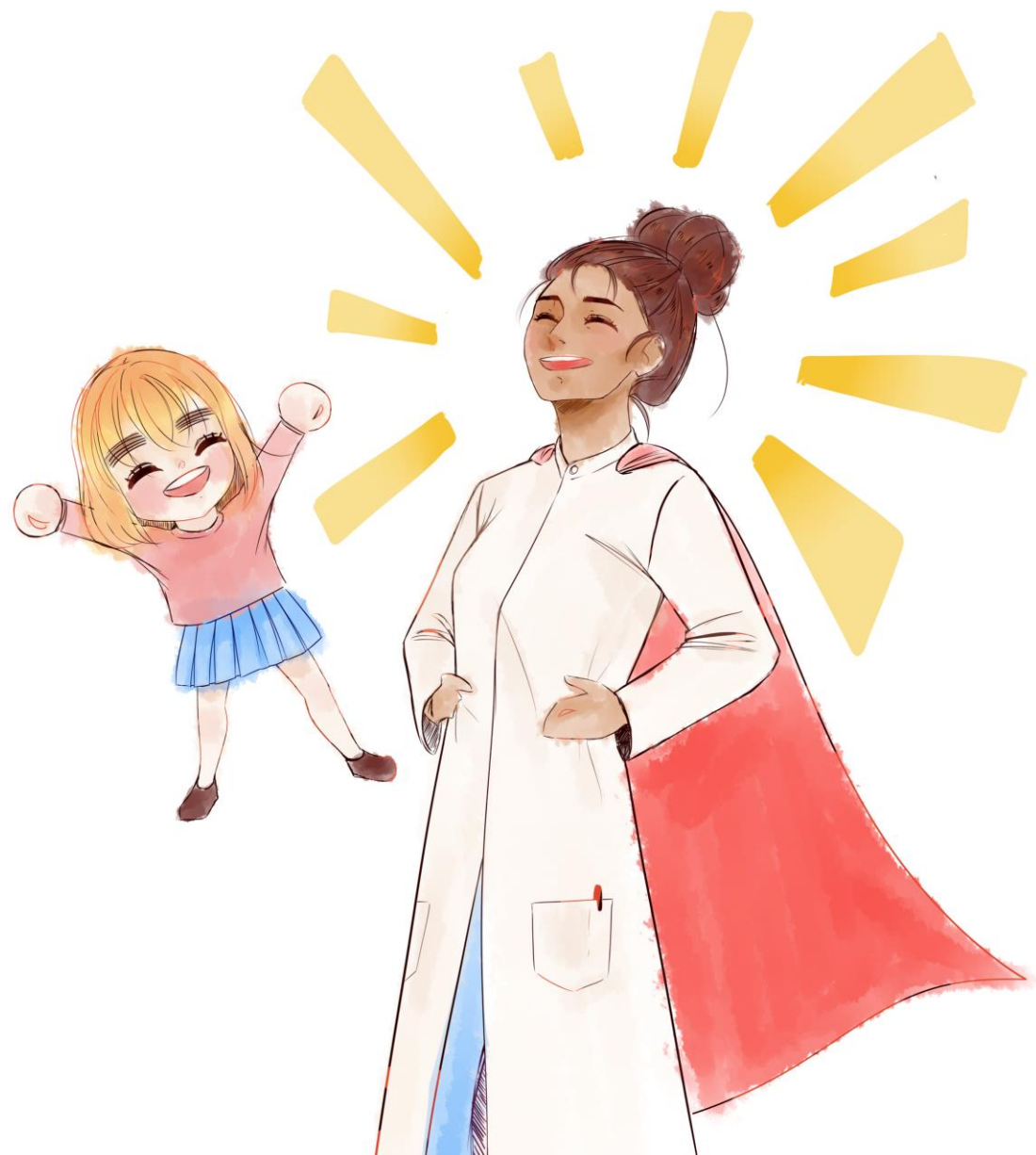




My Sister Can Talk  
With Bacteria

By The CIDosis Team



わたしのお姉ちゃん**科学者**なんだ。

賢くって優しいんだ。

しかも**魔法**が使えるの。

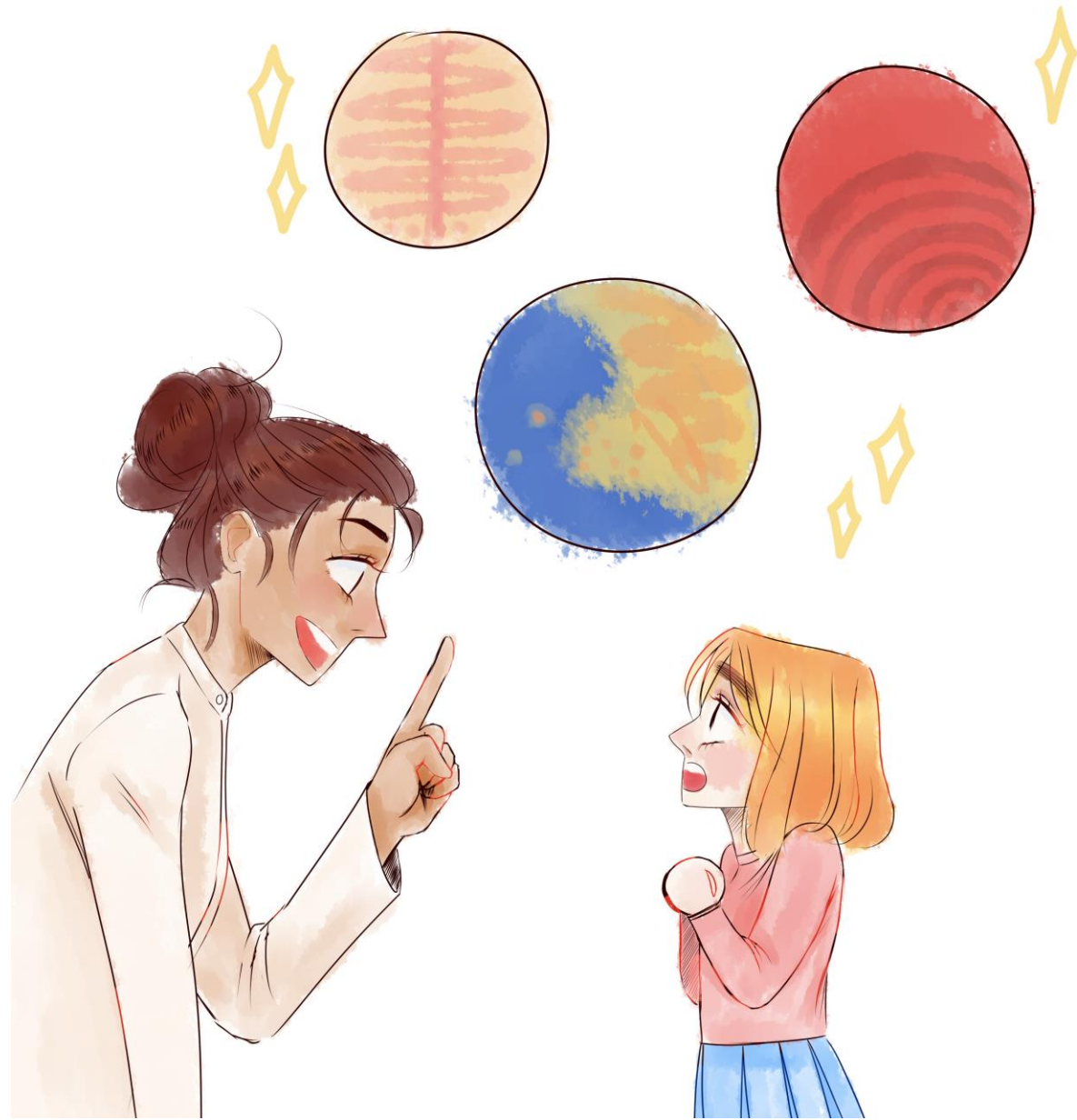
小さい**生き物**としゃべれるの。

わかった？「**微生物**」としゃべれ



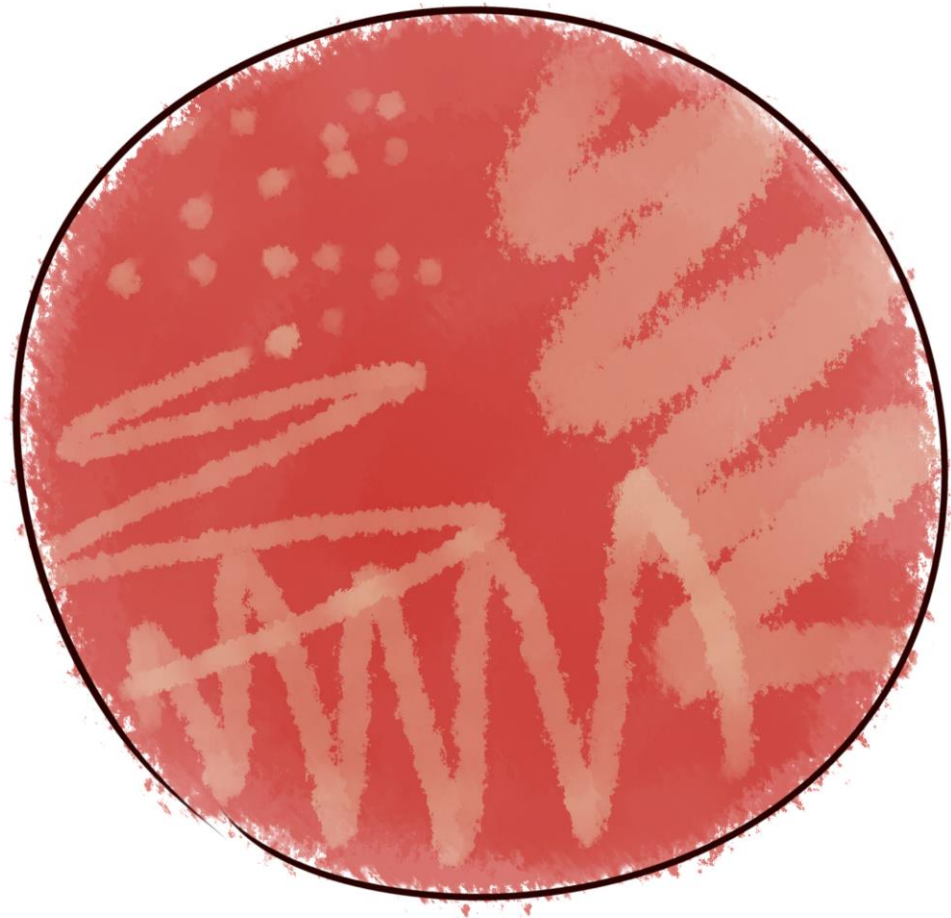
おかしいでしょう？  
でもね、お姉ちゃんが机の上に  
置いてるものを見たら変わっち  
やった。

お姉ちゃん、微生物をプレート  
の上で飼ってるの。微生物はそ  
こで育つんだ。



お姉ちゃんは、「ご飯があるから育つ」って言ってた。大きく育ってこんにちはって言えるようになるんだって！

人間みたい！とわたしが言ったら、お姉ちゃんうなずいてた。



育つ時に踊ったり集まったりして  
模様を描くんだ。劇団みたいに  
ね。

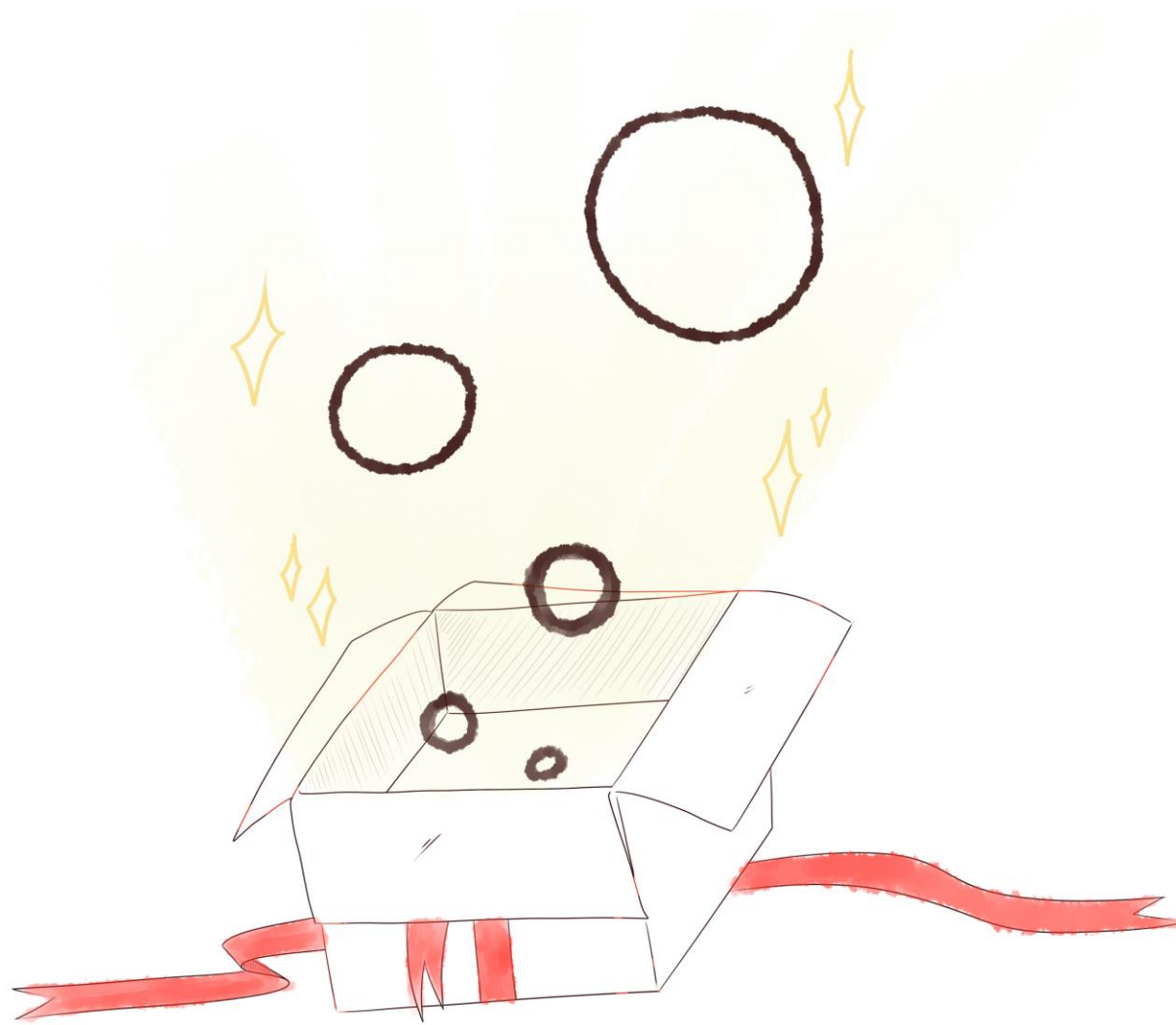
小さなプレートを見てたら、すご  
かったの。ジグザグだったり、波  
線だったり、水玉模様だったり！  
ずっと見ていられた。





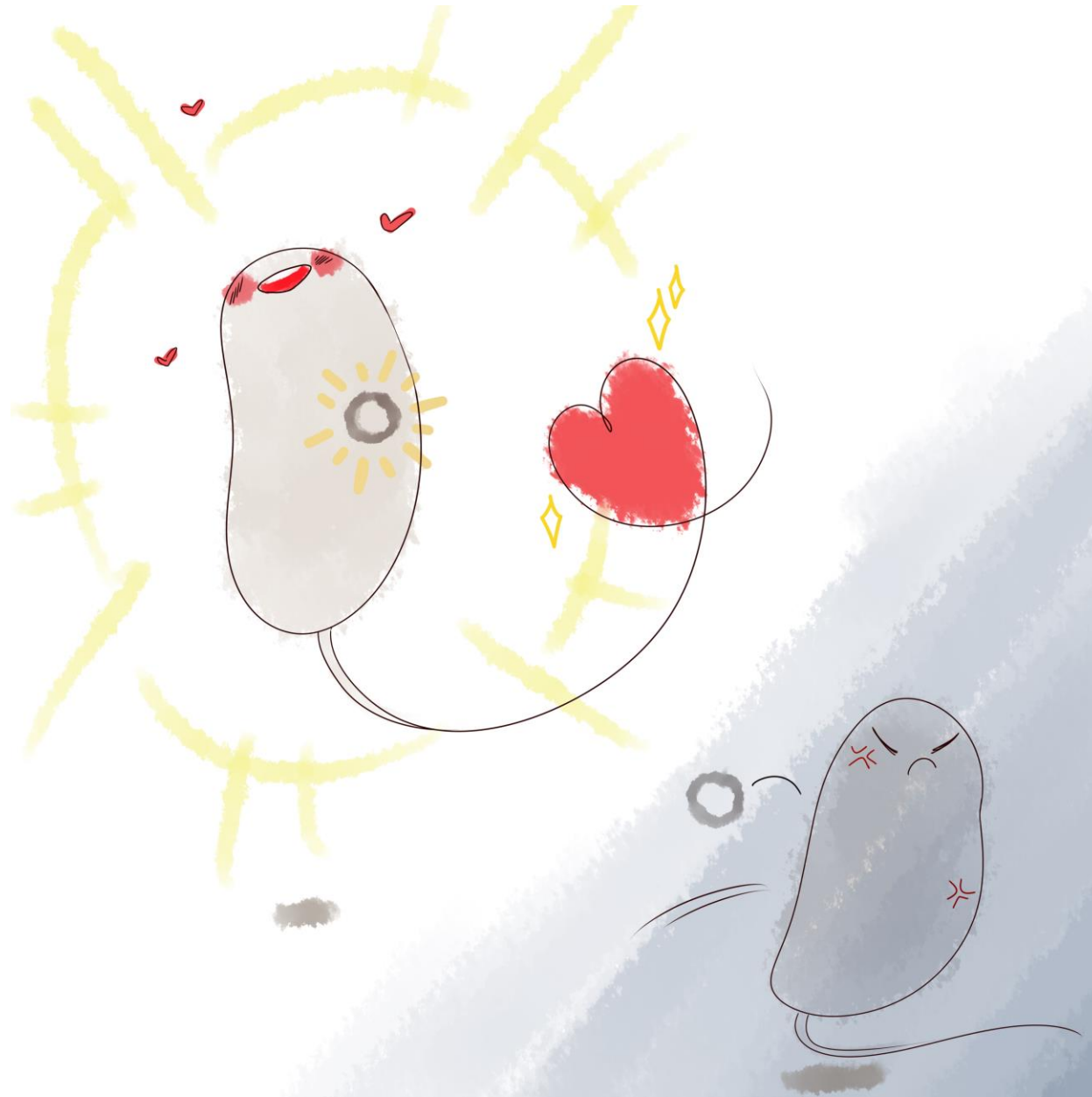
もし微生物が優しいなら、プレゼントをあげよう。

小さくて、丸いもの。お姉ちゃんは「プラスミド」って呼んでたよ。



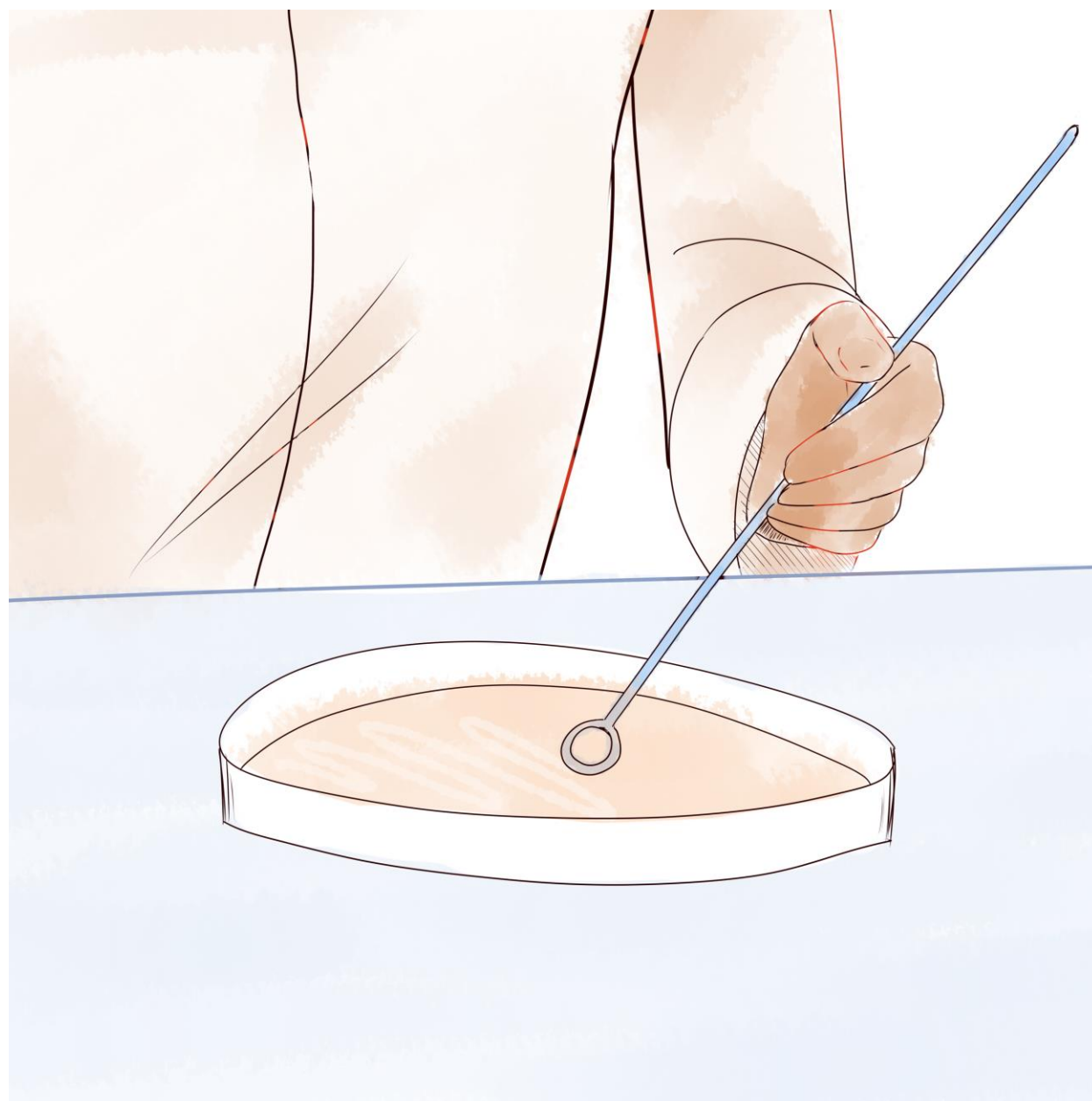
「プラスミド」は輪っかの遺伝子  
で、小さな秘密を書いて渡すこと  
ができるんだ。

わたしは、青く明るく育ってね、  
って書きたいな。



優しい微生物もいるけれど、頑固な微生物もいて、そしてプレゼントが嫌いな微生物もいるんだ。



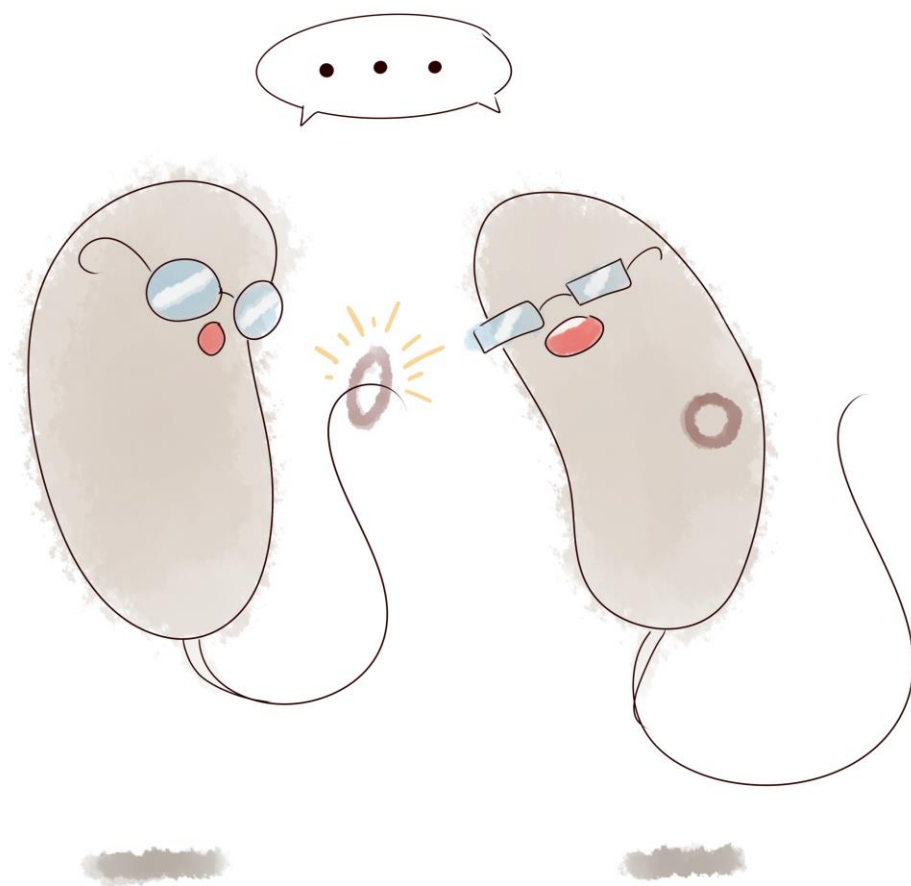


優しい微生物はプレゼントを受け取ってくれるよ。

プレゼントをもらった微生物は持ち上げられて、自分たちだけのプレートに住めるようになるんだ。



賢くて優しい微生物は、プラスミドを読むんだ。



ちょっと**時間**はかかるけれど、  
プラスミドがすばらしかったら  
わたしたちのメッセージが**分**か  
るよ。

わたしが**青**くなってほしいって



ありがとう、の印で青くなって  
くれたんだ！



MADE WITH LOVE,  
THE UCOPENHAGEN 2020 IGEM TEAM